

クリーンセンター滋賀漏水検知システムの漏水検知について（速報）

クリーンセンター滋賀の遮水シートの漏水を感知するシステムが漏水を検知した。その状況と対応の方針等は次のとおり。

1 検知の日時と場所

(1) 検知日時

平成 31 年 1 月 29 日（火）16 時 21 分

システムは一日 2 回 7 : 00 と 16 : 00 に自動的に通電して検査し、順次検査結果が表示される。

当日の 7 : 21 の検査結果は異状がなかった。

(2) 検知場所

貯留構造物の上流側埋立場所に進入する斜路付近（別図）

2 状 況

- ・ 漏れを検知した場所は、現在埋め立てを行っている貯留構造物上流側に降りるコンクリート進入斜路の入口から少し入った付近の当該コンクリートの下に敷設された遮水シートと思われる。
- ・ 当該コンクリート斜路の下には廃棄物は埋め立てられておらず、現在、斜路の下方部から順に廃棄物を埋め立ててきており、今回の検知場所はその境目付近になる。
- ・ 今回の検知場所の上部は、廃棄物が埋め立てられていないか、あるいはごく浅い埋め立てがなされた場所であり、廃棄物に触れた雨水の影響は無い、あっても微小と考えられる。

3 緊急対応

- ・ 本日より廃棄物の受入を停止（一部別の場所での埋立の廃棄物を除く。）し、漏水場所に廃棄物に触れた雨水が影響しないよう、付近の廃棄物を取り除く作業を早朝より実施する。
- ・ 念のため鉛直遮水壁内に溜まった地下水は浸出水貯留槽へポンプアップし、浸出水として水処理を行う。

4 今後の方針

早急に詳細な漏水場所を特定し、遮水シートの修繕を行う。

搬入車両の昇り降りがコンクリート下に敷設された遮水シートに影響を与えたのではと考えるが、原因を究明して再発のない方法で進入路を再生する。

その間この場所に埋め立てる予定であった廃棄物の受入は停止する。

貯留構造物

